

令和7年 4月 22日

事業所名称…グループホームまごころの家・グループホームまごころの家こしばら

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和7年4月10日

出席者(予定者)

事業所	3人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	0人
松江市職員	1人	包括支援センター	1人
知見を有する者	1人	その他	0人

令和7年 2月～3月のまごころの家、活動内容

(利用者について)

入退去・入院…2名の方、数日ホームへ泊ってくださり、ご家族に見守られながらご逝去。

1名の方、入居となる。

平均年齢 89歳 最年少 80歳 最高齢 96歳 介護度平均 4.3 女性 8名

季節の行事…節分、豆まき

誕生日会…1名 (ステーキ・蕎麦・刺身・ご飯・フルーツ他)

15時はケーキでお祝い

他の活動…クッキング(たこ焼き・焼き芋) DVD体操

外出状況…病院受診・ご家族と外出

医療往診・受診…内海皮膚科往診(褥瘡)、桑原整形定期受診

ヒヤリハット…3件。新規入居の方、夜間、ベッドより降りようと、ベッド柵を乗り越えようとされる。暫く様子観察をして行動を観ていたが、ベッドから柵を乗り越えようとしたり、柵から身を乗り出そうとしていた。腹部の圧迫や頭からの転落が予想されたため、柵を取らせていただいた。ベッドの下にはバスマットを敷いていた。その後、一旦、入眠されるが、中途覚醒時、ベッドより転落された。自宅でも同様の事があり、ご家族に相談して、ヨガマットを居室の床に貼らせていただいた。

身体拘束について…不必要な身体拘束になっていないか、見直しを毎月行っている。

虐待について…虐待に繋がっていないか、気になる事があれば、話し合っている。

(職員について)

2月1名、パート職員が退職

外部研修…1名、小規模連絡会議主催の研修へ参加

その他…職員健康診断、デスカンファレンス(2名の方を続けてお看取りをさせていただき、初めて経験をした新人STへ気持ちのフォローを行った。また、日頃の関りの重要性を再認識した。

防災訓練 日中想定(避難誘導・通報訓練・消火訓練)

BCP研修 緊急事態に備え、備蓄の確認。対応の仕方について、再確認を行った。

ボランティア状況

○近所の方、ご家族から、野菜、お花、新聞ごみ袋、ウエスなど沢山いただく。

令和 7 年 2 月～3 月のまごころの家こしばらホーム、活動内容
(利用者について)

入退去や入院…入院 1 名（細菌性肺炎の為）医療的ケアが必要となり退去

平均年齢 93.5 歳 平均介護度 2.1 女性 8 名 男性 0 名

毎月の活動…クッキング（恵方巻）巻きすに具材を載せ、各自巻いていただいた。

焼きそば、お好み焼き、おはぎ

誕生日会…2 月 5 名の方、合同で誕生日会を開催した。

外出支援…外出支援（個別対応） 散歩やドライブ

季節の行事…節分（豆まき・恵方巻作り、職員が鬼に扮し、ご利用者に豆を投げてもらい今年 1 年の健康を祈願した。

ひな祭りにちなみ、折り紙でひな人形を作っていた。

美容散髪…ブルーライン美容室

医療受診・往診 ・釜瀬クリニック往診・つきざわ内科往診・あさひまちクリニック往診
・内海皮膚科往診・市立病院受診・わたなべ耳鼻咽喉科受診

事故報告…1 件 ベッドからのずり落ち（お茶の声掛けするが、入眠中の為、一度退室。その後、覚醒されポータブルトイレに座ろうとした時に、座り損ねたよう。足の浮腫も強く、靴がきちんと履けていなかったため、靴の変更を家族に依頼して交換した。

身体拘束について…毎月職員会議にて、身体拘束委員会を開催し話し合いを行っている。
センサーや柵については、必ず、ご家族の了解を得て使用。

虐待について…資料を回覧し、確認しあっている。

（職員について）

職員 3 名退職…1 名は復帰を希望されるが、持病があるため、復帰は難しい。

1 名ケアマネージャー入社（非常勤）

地域活動…近隣の方、溝掃除。ご利用者家族、近所の方から、ウエスや古新聞をいただく。

（意見交換）

法人

まごころの家は、3 月に続けて 2 名の方が逝去された。直ぐに 1 名を入居させたが、新人 ST 育成などで、すぐに満床にするのは難しい。収入は減少するが、致し方ない。残念なのは、病気などの治療が必要で入院した場合、病気治療は順調だが、入院中にベッドよりの転落や誤嚥性肺炎などで入院が長引くことがある。この場合の収入が減少し経営が厳しくなる。如何なものか教えて欲しい。

ホーム

実際、病気治療で入院された方が、ベッドよりの転落で入院が長引き、退院後は ADL の低下、ホームに帰ってから生活が変わった方が数名見られた。

松江市

別のケースですが、医療機関の方から、松江市に他の施設のご利用者が受診された時、

虐待の疑いで報告がありました。他のグループホームに入居されていた、ご利用者に、骨折の疑いがあり、主治医の往診後、受診をするよう指示があった。受けた職員から管理者に伝わるのも遅れた事、ご家族が大阪に住んですぐに帰れないことなどで、受診した時には、主治医の指示から1ヵ月経っていたということだった。グループホームでは、看護師が在中していないため、「大丈夫だろう」と、勝手な判断をする方がいるが、必ず、医療につなげて欲しい。

ホーム

認知症の方は、自分で痛みを上手く伝えられない場合が多い。しかし、週1度は、訪問看護師が入っているので、1ヵ月放置は何故起こったのか？

松江市

上手く連携が取れていなかったことが考えられます。

松江市

地域活動など、コロナの前に戻してほしい。

知見を有する方

報告を聞いて、現状、職員が少ないなかで、皆が頑張っているのに、もっと頑張れとは、いかななものでしょうか？7年度は、運営推進会議の場で、人員解消をどうするのかを、もっと真剣に考え一緒に勉強しませんか？

松江市

サ高住が立つと、看護師、介護職員が取られる。有料老人ホームなどは、常勤換算数はグループホームより、基準が甘い。

法人

正直、ここ数年で、入社する職員の質が落ちてきている。職員の質をどのようにしてあげるのか。介護の基礎はもちろん、立ち振る舞いや家族とのコミュニケーション、食事介助、所作など、基本に沿ってないように感じる。介護の給料は、島根県と100万円以上の差がある。介護の現場は、ゴールデンウィークなど関係なく仕事をしている。そういう方に対して、給付金とかではなく、しっかり、給与を配るべき。また、「人材確保は大変」と聞かれるが、夏休み職場体験をした子供たちは、その後、どこに行ったのか？公金事業として行っているのだから、その後を把握しておいてほしい。

包括

人材センターでも、研修はしているが、実際、就職に繋がっていない人の方が多い。税金を使っているのに。

松江市

人員確保が難しく、2ユニットのうち、1ユニット閉鎖していたグループホームが、2年間閉鎖していたが、最近、復活させたと報告がありました。

松江市

今後は、コロナ前のように、地域の方やご家族などの参加を出来るようにしてください。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	◎
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	◎

